

ば じゅつ
馬術

ばじゅつきょうぎは、いきものうまとせんしゅが「じんばいつたい」となって
おこなゆいいつこくきょうぎ
行う唯一の国スポ競技です。



日程・会場 ● 9月29日（月）～10月3日（金）
三木ホースランドパーク（兵庫県）

プログラム詳細は
p. 3 ～ 参照！

一般観覧 (可) 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし

インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！（主に決勝戦）

- ・馬を脅かしたり、びっくりさせるようなことはしないでください。
- ・競技中は、競技場の柵に手をかけたり、柵から体を乗り出したりしないでください。
- ・観客にとっても、競技をしている人馬にとっても危険です。
- ・競技中の人馬の写真を撮るときには、馬が驚くことがあるので絶対にフラッシュを使用しないでください。
- ・撮影音禁止、柵から乗り出し禁止。その他、競技役員や係員の指示に従ってください。

競技紹介

- 演技の正確さや優美さを競う「馬場馬術」、コース上に設置された障害物を飛越しながらミスなく早く走行する「障害飛越」、両方の競技を同じ人馬のコンビで行う「総合馬術」があります。
- 馬場馬術は、馬がまるで自らの意思で動いているように見える、指示を出していることが観る側に分からない絶妙な動きが注目です。障害飛越は、馬の動きがダイナミックでスピード感があり、華麗な飛び越えが見所です。

競技のルールや見どころは **p. 4 ～** 参照！



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏 名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現 住 所
1	馬術	成年男子	標準障害飛越・国体総合馬術	監督兼選手	谷口 真一	水口乗馬クラブ		甲 賀 市
2	馬術	成年男子	六段障害飛越・トップスコア	選手	山口 敬介	水口乗馬クラブ		甲 賀 市
3	馬術	成年男子	馬場馬術・自由演技馬場馬術	選手	池添 学	JRA栗東トレーニングセンター		栗 東 市
4	馬術	成年男子	スピード・アンド・ハンディネス・ダービー	選手	小牧 加矢太	JRA栗東トレーニングセンター		草 津 市
5	馬術	成年女子	標準障害飛越・二段障害飛越	選手	治武 しおり	水口乗馬クラブ		甲 賀 市
6	馬術	成年女子	トップスコア・ダービー	選手	吉田 彩音	水口乗馬クラブ		甲 賀 市
7	馬術	成年女子	馬場馬術・自由演技馬場馬術	選手	稲田 朝代	栗東ホース倶楽部		栗 東 市
8	馬術	少年	スピード・アンド・ハンディネス・リレー・トップスコア	選手	吉田 花凜	滋賀県立国際情報高等学校	2年	甲 賀 市
9	馬術	少年	標準障害飛越・リレー・二段障害飛越	選手	川島 玄士	滋賀県立栗東高等学校	3年	栗 東 市
10	馬術	少年	ダービー・団体障害飛越	選手	米田 圭吾	立命館守山高等学校	3年	野 洲 市
11	馬術	少年	馬場馬術・自由演技馬場馬術	選手	池添 桃花	滋賀県立石山高等学校	3年	栗 東 市
12	馬術	少年	団体障害飛越	選手	梅田 東空	司学館高等学校	1年	栗 東 市

見どころ

- 馬術の見どころは、選手が手綱・脚・体重で馬に指示を与え、馬がその指示に応える「人馬一体」の技術と、種目ごとの迫力にあります。
 - ・馬場馬術：馬が踊るような芸術的なステップとそれを生み出す選手との信頼関係
 - ・障害馬術：華麗なジャンプやダイナミックな飛越
 - ・総合馬術：自然に近い障害物を疾走するクロスカントリーが魅力です！

●<滋賀県選手団>

昨年の佐賀国スポで2冠の山口敬介選手や、JRA騎手で前回成年男子ダービーを制した小牧加矢太選手など、成年男子は特に優勝を狙っています！

●<滋賀県選手団>

少年の部の川島玄士選手は2024インターハイ優勝！池添桃花選手は、成年男子の部に出場のJRA調教師・池添学選手と親子出場。少年の部にも期待大です！

滋賀県広報課の注目ポイント

- 当日会場では、馬とのふれあいイベント（乗馬、にんじんタイム、引き馬）も実施！
かっこいいお馬さんに触れるチャンスでもあります！





馬 術 競 技 会

競技会日程

監督会議 9月28日(日) 16時00分～ エオの森研修センター (三木ホースランドパーク)

会場	月 日	競技番号	競 技 種 目		競技場	下見時間	競技時間
三木ホースランドパーク	第1日目 9月29日 (月)	第1競技	成年男子	馬場馬術競技	B	——	9:00～11:20
		第2競技	少年	馬場馬術競技	B	——	13:00～15:20
		第3競技	成年女子	二段階障害飛越競技	A	8:45～ 8:55	9:00～ 9:55
		第4競技	成年男子	スピードアンドハンディネス競技	A	10:20～10:30	10:35～11:35
		第5競技	少年	標準障害飛越競技	A	12:25～12:35	12:40～14:00
		第6競技	成年男子	ダービー競技	A	14:35～14:55	15:00～16:40
	第2日目 9月30日 (火)	第7競技	成年女子	馬場馬術競技	B	——	9:00～11:20
		第8競技-1	成年男子	国体総合馬術競技(馬場馬術)	B	——	13:10～17:00
		第9競技	成年女子	ダービー競技	A	8:35～ 8:55	9:00～10:40
		第10競技	少年	スピードアンドハンディネス競技	A	11:10～11:20	11:25～12:25
		第11競技	成年男子	トップスコア競技	A	13:10～13:25	13:30～14:25
		第12競技	少年	団体障害飛越競技	A	14:55～15:05	15:10～16:25
	第3日目 10月1日 (水)	第13競技	成年男子	自由演技馬場馬術競技	B	——	9:00～11:35
		第14競技	少年	二段階障害飛越競技	A	8:45～ 8:55	9:00～ 9:55
		第15競技	成年女子	標準障害飛越競技	A	10:20～10:30	10:35～11:55
		第16競技	少年	リレー競技	A	12:45～12:55	13:00～14:05
		第8競技-2	成年男子	国体総合馬術競技(障害飛越)	A	14:45～15:00	15:05～16:05
	第4日目 10月2日 (木)	第17競技	少年	自由演技馬場馬術競技	B	——	9:00～11:35
		第18競技	成年女子	自由演技馬場馬術競技	B	——	13:15～15:50
		第19競技	少年	ダービー競技	A	8:35～ 8:55	9:00～10:40
		第20競技	成年女子	トップスコア競技	A	11:10～11:25	11:30～12:25
		第21競技	成年男子	標準障害飛越競技	A	13:20～13:30	13:35～14:55
	第5日目 10月3日 (金)	第22競技	少年	トップスコア競技	A	8:30～ 8:45	8:50～ 9:45
		第23競技	成年男子	六段階障害飛越競技	A	10:15～10:25	10:30～12:10

A (屋外競技馬場 (障害飛越))、B (屋内競技馬場 (馬場馬術))

総合表彰式 2025年10月3日(金) 13時00分～ 三木ホースランドパーク 馬場馬術競技場(インドアアリーナ)

種目別表彰式は、第22競技及び第23競技を除き、障害飛越競技場前のウィナーズサークルで行います。

(荒天時は中庭キャノピーで行います。)

第22競技及び第23競技の種目別表彰式は、馬場馬術競技場(インドアアリーナ)で行います。

下見時間・競技時間・表彰時間は変更になる場合があります。

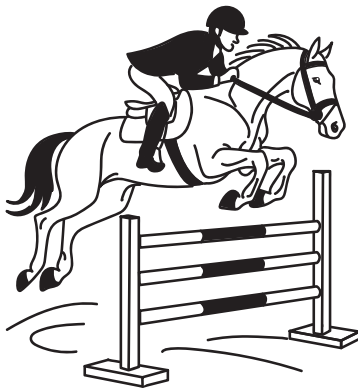
馬術競技とは？

人と馬が一体となって行うスポーツ馬術競技

大きく分けて2つの競技があります！

障害馬術（飛越）競技

競技場内に設置された様々な色や形の障害物を、決められた順番通りに飛越し走行するもので、障害物を落としたり、馬が障害物の前で止まったりせず、どれだけ速くゴール地点に戻ってこられるかを競う競技です。



馬場馬術競技

競技アリーナ内で行う演技の正確さや美しさを競うバレエのような競技で、予め定められた運動を、いかに正確かつ優美に行えるかを競う競技です。



総合馬術競技

馬場馬術競技・クロスカントリー競技・障害馬術競技を同一人馬で行う、トライアスロンのような過酷な競技です。国スポ本大会では、2日間で馬場馬術競技・障害馬術競技の2競技を行う国体総合馬術競技が行われます。

馬術競技の魅力

馬術競技は、他のスポーツと異なり、生き物である馬と選手が一体となって競技を行うスポーツです。馬は、鋭敏な感覚と自分の意思を持っており、いかに優れた技術を持った選手でも馬の力を借りなければ良い成績を収めることはできません。また、優れた能力を持った馬も、選手が馬の能力を引き出さなければ、良い演技を行うことはできないのです。選手が馬の能力を最大限に引き出し、馬も選手の要求に精一杯こたえようとする関係が結ばれたときに『人馬一体』の妙技が繰り広げられることになります。

一般には、連動するためのエネルギーが馬の役割で、そのためのリズムとバランスを与えるのが騎手の役割だといわれています。

このため、選手は馬を愛し、馬を理解し、自分の馬がいつでも自分の指示に喜んで従い、どんな難しい運動でもできるように、また、どんな難しい障害でも、勇気を持って確実に飛び越せるように教え込んでおかなければなりません。このように馬の能力を引き出し、高めるための訓練を『調教』といいます。馬を十分に調教し人馬が信頼感で結ばれ、馬の弱点を選手が補い、選手のミスも馬が助けることで、初めて馬術競技において勝利が得られるのです。

競技性について

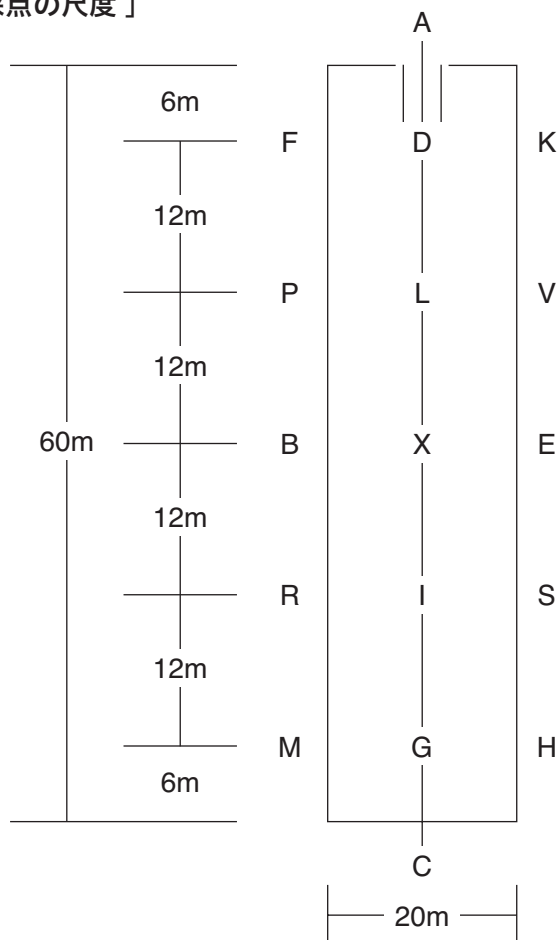
馬場馬術競技は、定められた種々の動き方をしてその優美さを競い、障害飛越競技は、高さや幅、色彩や形状の異なる障害物をミス無く飛越していく競技です。そして、国体総合馬術競技は、その両者を兼ねた総合的な調教度合いを競うものです。

馬場馬術競技

長方形 (20m × 60m) の馬場内で三種の歩き方である常歩 (なみあし)、速歩 (はやあし)、駢歩 (かけあし) で躍動感に満ちた様々な運動を演じるものです。前進・停止・後退をしたり、あるいは直進・斜め・円形・波形に馬を進めたりして、馬の調教レベル、騎手の技量を競います。

競技場及び採点の尺度は次のようになっています。

[採点の尺度]



[採点の基準]

EXCELLENT	10	優秀
VERY GOOD	9	極めて良好
GOOD	8	良好
FAIRLY GOOD	7	おおむね良好
SATISFACTORY	6	基本的な要求を満たしている演技
SUFFICIENT	5	やや不十分
INSUFFICIENT	4	不十分
FAIRLY BAD	3	やや不良
BAD	2	不良
VERY BAD	1	極めて不良
NOT PERFORMED	0	不実施

国民スポーツ大会で実施される馬場馬術競技は次のとおりです。

競技種目	種別	競技日	時間
(1) 馬場馬術競技 ※ FEI セントジョージ賞典馬場馬術科目	成年男子	9月29日(月)	9:00~
	成年女子	9月30日(火)	9:00~
(2) 自由演技馬場馬術競技 ※ JEF 自由演技国体成年馬場馬術科目	成年男子	10月1日(水)	9:00~
	成年女子	10月2日(木)	13:15~
(3) 馬場馬術競技 ※ FEI ジュニアライダー個人競技馬場馬術科目	少年	9月29日(月)	13:00~
(4) 自由演技馬場馬術競技 ※ FEI 自由演技ジュニアライダー馬場馬術科目	少年	10月2日(木)	9:00~

これらのうち(1)、(3)は、運動科目と順序が決められており、これに応じて演技を行います。力強く躍動感溢れる運動で、規定どおりの図形を正しく流れるよう指定された場所に描き、しかも優美さが感じられるように行われているかどうかを見て頂ければ、一層興味が湧くことと思います。

(2)、(4)の自由演技は、演技方法の構成や音楽の選曲を各自で考えて規定時間内で音響に合わせて演技するものです。採点は、①技術点 (必須科目を必ず行う) と、②芸術性評価点 (芸術的印象、音楽的印象、演出構成など) の合計となります。

FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目の見方

順 序	運 動 課 目	人 馬 の 動 き	着 眼 点
1.	A 収縮駈歩で入場 X 停止ー不動ー敬礼 XC 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩		ペースおよび停止と移行の質 真直性 コンタクトと項の位置
2.	C 右手前蹄跡に入る MXK 中間速歩 KAF 収縮速歩		整正、伸縮性、バランス、 後躯のエンゲイジメント 歩巾とフレームの伸展、両移行
3.	FB 左肩を内へ		速歩の整正と質；屈曲と一定 の角度、収縮、バランスと流暢さ
4.	B 左へ巻乗り（直径8m）		速歩の整正と質、収縮、バランス 屈曲；巻き乗りの大きさと形
5.	BG 左へハーフパス G 中央線上に入る C 左手前蹄跡に入る		速歩の整正と質、安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉
6.	HXF 伸長速歩 F 収縮速歩		整正、伸縮性、バランス、 後躯の活力、オーバートラック フレームの伸展 中間速歩との差異
7.	HとFでの移行 FAK 収縮速歩		リズムの維持、流暢さ、 正確でスムーズな移行の実施 フレームの変化、コレクション
8.	KE 右肩を内へ		速歩の整正と質；屈曲と一定 の角度、収縮、バランスと流 暢さ
9.	E 右へ巻乗り（直径8m）		速歩の整正と質、収縮、バランス 屈曲；巻き乗りの大きさと形

FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目の見方

順 序	運 動 課 目	人 馬 の 動 き	着 眼 点
10.	EG G 右へハーフパス 中央線に入る		速歩の整正と質, 安定した屈曲 収縮、バランス、流暢さ、肢 の交叉
11.	C手前 で C H GM間 左へ半ピルーエット [収縮常歩] [左手前蹄跡に入る] 「左へ回転」		整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性 半ピルーエットにおける屈曲 前進気勢、4ビートの維持
12.	GH間 GM 右へ半ピルーエット [収縮常歩]		整正、活発さ、収縮、大きさ 諸関節の柔軟性 半ピルーエットにおける屈曲 前進気勢、4ビートの維持
13.	C-H-G-(M)-G-(H)-G-Mにお ける収縮常歩		整正、背の柔軟、活発さ、 歩巾の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ 常歩への移行
14.	MRXV(K) 伸長常歩		整正、背の柔軟、活発さ、 オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展
15.	K手前 で K KAF 収縮常歩 左収縮駢歩で発進 収縮駢歩		正確な実施と移行の流暢さ 駢歩の質
16.	FX X 左へハーフパス 踏歩変換		駢歩の質、収縮、バランス 安定した屈曲、流暢さ 踏歩変換の質
17.	XM M MCH 右へハーフパス 踏歩変換 収縮駢歩		駢歩の質、収縮、バランス 安定した屈曲、流暢さ 踏歩変換の質
18.	H HX間 収縮駢歩でXへ向かう 左へ半ピルーエット		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数 (3-4歩) ピルーエット前後の駢歩の質

FEI セントジョージ賞典馬場馬術課目の見方

順 序	運 動 課 目	人 馬 の 動 き	着 眼 点
19.	HC C 反対駢歩 踏歩変換		反対駢歩の質と収縮 踏歩変換の正確さ、バランス、 流暢さ アップヒル傾向、真直性
20.	M MX間 収縮駢歩でXへ向かう 右へ半ピルーエット		収縮、セルフキャリッジ、バランス 大きさ、諸関節の柔軟性と屈曲 正しい歩数（3-4歩） ピルーエット前後の駢歩の質
21.	MC C 反対駢歩 踏歩変換		反対駢歩の質と収縮 踏歩変換の正確さ、バランス、 流暢さ アップヒル傾向、真直性
22.	HXF FAK 斜線上4歩毎の踏歩変換5回 収縮駢歩		正しさ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 （踏歩変換）前後の駢歩の質
23.	KXM MCH 斜線上3歩毎の踏歩変換5回 収縮駢歩		正しさ、バランス、流暢さ、 アップヒル傾向、真直性 （踏歩変換）前後の駢歩の質
24.	HXF 伸長駢歩		駢歩の質、インパルジョン 歩巾とフレームの伸展、 バランス、アップヒル傾向、 真直性
25.	F FA 収縮駢歩、踏歩変換 収縮駢歩		斜線上での踏歩変換の質 正確さ、移行のスムーズな実 施
26.	A X 中央線上に入る 停止－不動－敬礼		ペースの質、停止、移行 真直性、コンタクトと項の位置
	手綱を伸ばした常歩でAより退場		

総合観察

1. 全体的な印象（人馬コンビネーションによる調和

減点すべきもの／ペナルティポイント

経路違反

FEI ジュニアライダー団体馬場馬術課目の見方

順 序	運 動 課 目	人 馬 の 動 き	着 眼 点
1.	A 収縮駢歩で入場 X 停止－不動－敬礼 XC 収縮速歩で発進 XC 収縮速歩		ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置
2.	C 右手前蹄跡に入る R 右へ巻乗り（直径10m）		速歩の整正と質、 収縮、バランス 屈曲；巻乗りの大きさと図形
3.	RP 右肩を内へ		速歩の整正と質； 屈曲と安定した角度 収縮、バランス、流暢さ
4.	PL 右へ半巻乗り（直径10m） LR 右へハーフパス		速歩の整正と質、一様の屈曲、 収縮、バランス、流暢さ、 肢の交叉
5.	M 左へ回転 G 停止－不動 4 歩後退、直ちに収縮速歩 で発進 H 左へ回転		停止と移行の質 透過性、流暢さ、真直性 正確な後退（斜対）の歩数
6.	SF 中間速歩 F 収縮速歩 FA 収縮速歩		整正、伸縮性、バランス、 後軀の活力、歩巾とフレームの伸展 両移行、収縮
7.	A 中間常歩 AKV 中間常歩		整正、背の柔軟、活発さ、 歩巾とフレームの適度な伸展、 肩の自由さ、常歩への移行
8.	VR 伸長常歩		整正、背の柔軟、活発さ、 オーバートラック、肩の自由さ ハミへの伸展
9.	RMG [収縮常歩] GH間 左へハーフピルーエット		ハーフピルーエットにおける 整正、活発さ、収縮、大きさ、 フレクション、屈曲 前進気勢、4ビートの維持
10.	GM間 右へハーフピルーエット		ハーフピルーエットにおける 整正、活発さ、収縮、大きさ、 フレクション、屈曲 前進気勢、4ビートの維持

FEI ジュニアライダー団体馬場馬術課目の見方

順 序	運 動 課 目	人 馬 の 動 き	着 眼 点
11.	R-M-G-(H)-G-(M)-Gにおける収縮常歩		整正、背の柔軟、活発さ、歩中の短縮と運歩の高揚 セルフキャリッジ
12.	G 収縮速歩で発進 H 左へ回転 S 左へ巻乗り（直径10m）		速歩の整正と質、収縮、バランス 屈曲；巻乗りの大きさと図形
13.	SV 左肩を内へ		速歩の整正と質；屈曲と安定した角度 収縮、バランス、流暢さ
14.	VL 左へ半巻乗り（直径10m） LS 左へハーフパス SHCM 収縮速歩		速歩の整正と質、一様の屈曲、収縮、バランス、流暢さ、肢の交叉
15.	MXK 伸長速歩 K 収縮速歩		整正、伸縮性、バランス、後駆のエネルギー、踏み込み、フレームの伸展 中間速歩との違い
16.	KA M, K地点での移行 収縮速歩		リズムの維持、流暢さ、移行の明確でスムーズな実施 フレームの変化、収縮
17.	A 左収縮駢歩で発進		明確な実施と流暢な移行、駢歩の質
18.	AFP [収縮駢歩] P [左へ回転] L 踏歩変換 V [右へ回転]		正確さ、バランス、流暢さ アップヒル傾向、踏歩変換の真直性
19.	A-F-P-V-Eにおける収縮駢歩		駢歩の質、収縮、真直性
20.	EG 右へハーフパス C 右手前蹄跡に入る		駢歩の質 収縮、バランス、一様の屈曲、流暢さ

FEI ジュニアライダー団体馬場馬術課目の見方

順 序	運 動 課 目	人 馬 の 動 き	着 眼 点
21.	ME 収縮駢歩でIにて踏歩変換		正確さ、バランス、流暢さ、アップヒル傾向、真直性、前後の駢歩の質
22.	EF 収縮駢歩でLにて踏歩変換		正確さ、バランス、流暢さ、アップヒル傾向、真直性、前後の駢歩の質
23.	AKV [収縮駢歩] V [右へ回転] L 踏歩変換 P [左へ回転]		正確さ、バランス、流暢さ、アップヒル傾向、踏歩変換の真直性
24.	A-K-V-P-Bにおける収縮駢歩		駢歩の質、収縮、真直性
25.	BG 左へハーフパス C 左手前蹄跡に入る		駢歩の質 収縮、バランス、一様の屈曲、流暢さ
26.	HK 伸長駢歩 K 収縮駢歩		駢歩の質、インパルジョン、歩巾とフレームの伸展 アップヒル傾向、真直性
27.	HとKでの移行 KA 収縮駢歩		明確でスムーズな両移行の実施 収縮
28.	A 中央線上に入る X 停止ー不動ー敬礼		ペース、停止、移行の質 真直性、コンタクトと項の位置
	手綱を伸ばした常歩でAより退場		

総合観察

1. 全体的な印象（人馬コンビネーションによる調和のとれた表現：騎手の姿勢と騎座、控えめかつ効力のある扶助）

減点すべきもの／ペナルティポイント

経路違反

- 1 回目 = 0.5%減
- 2 回目 = 1.0%減
- 3 回目 = 失 権

その他のペナルティ - 技術的過失 1 回ごとに0.5%減

障害馬術（飛越）競技

馬場内に設置された障害物を過失なく飛び越す競技です。障害物を構成する横木の落下や障害前で馬が止まってしまう（拒止）など過失（不従順）があると減点になります。走行の際に不従順が2回となると失権（2反抗失権）となりコース走行を途中で止めなければなりません。

障害物は、競技会ごとに趣向を凝らして作られ配置されますから、馬がどんな形や色にも驚かず飛び越えるように調教されていなければなりません。競技で1位が決まらない場合は、規定によりジャンプオフ（決勝競技）を実施することがあります。

国民スポーツ大会で実施される競技は、次のとおりです。

1 成年男子 / 少年 スピードアンドハンディネス競技

この競技は、馬の速度（スピード）及び従順さ・御しやすさ（ハンディネス）を競う競技です。コースは急な回転なども含まれており障害物はより変化のあるものが使われます。過失は秒数に換算され（たとえば障害の落下は1回につき4秒）競技者がコースを完走するのに要した時間に加算されて、タイム（秒数）で成績を出します。最短の時間で走行したものが勝者となります。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
成年男子	9月29日(月)	10:35～	高さ130cm以下、幅150cm以下、全長約600m
少 年	9月30日(火)	11:25～	高さ110cm以下、幅130cm以下、全長約600m

2 成年男子 / 成年女子 / 少年 標準障害飛越競技

この競技は、障害馬術（飛越）の代表的な競技で、競技場内に障害物が設置され、スタートからゴールまでの定められたコースを走行します。

走行コースの全長に応じて規定時間が決められており、規定時間内に全障害を無過失でゴールすれば減点0です。減点法で採点しますので、減点0もしくは同減点の選手が2名以上いる場合はジャンプオフ（決勝競技）を行います。規定時間のタイムオーバー1秒につき1点ずつ減点され、規定時間のほかに制限時間（規定時間の2倍）というものがあり、これを超えると失権になります。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
少 年	9月29日(月)	12:40～	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約500m
成年女子	10月1日(水)	10:35～	高さ125cm以下、幅145cm以下、水濠幅350cm以下、全長約500m
成年男子	10月2日(木)	13:35～	高さ140cm以下、幅160cm以下、水濠幅350cm以下、全長約500m

3 成年女子 / 少年 二段階障害飛越競技

この競技は、2段階からなり、第1段階を無過失で走行したもののだけが第2段階のコースに向かうことができます。第1段階で過失があると第2段階に入る前にベルが鳴らされ、2段階には進めません。第1段階は7個の障害物が設置され、規定時間内での無過失走行を目指し、第2段階は5個のやや複雑な障害物が設置されており、無過失と走行時間の短縮をめざします。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
成年女子	9月29日(月)	9:00～	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約600m
少 年	10月1日(水)	9:00～	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約600m

4 成年男子 / 成年女子 / 少年 ダービー競技

この競技は、障害馬術（飛越）競技の一種ですが、主に自然状態の障害物を飛越し、速度、耐久力及び飛越能力を競うもので、固定障害に横木を乗せた障害や置障害が設置されます。採点は減点法で行い、同点の場合は、ジャンプオフ（決勝競技）を行います。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
成年男子	9月29日(月)	15:00～	高さ 125cm 以下、幅 150cm 以下、18 障害以内、全長約 800m
成年女子	9月30日(火)	9:00～	高さ 110cm 以下、幅 150cm 以下、18 障害以内、全長約 800m
少 年	10月2日(木)	9:00～	高さ 110cm 以下、幅 150cm 以下、18 障害以内、全長約 800m

5 成年男子 / 成年女子 / 少年 トップスコア競技

この競技は、難度に応じて40点から120点までの点数がつけられた障害物を、60秒の規定時間内に自分の希望する順序と方向で飛越していきます。

完飛した時のみ得点が与えられ、最高得点を得たものが勝者となる点取り競技です。各障害は、どちらの方向からも飛越でき、同じ障害を2回まで飛越できます。障害の中に1つあるジョーカー障害は、完飛すると200点が与えられますが、万一落下させると200点の減点となり得点に大きく影響します。ジョーカーへの挑戦は、馬の調子と選手の判断によるもので、この競技の見所といえます。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
成年男子	9月30日(火)	13:30～	高さ 90cm ～ 150cm 以下、幅 180cm 以下、規定時間 60 秒
成年女子	10月2日(木)	11:30～	高さ 90cm ～ 140cm 以下、幅 170cm 以下、規定時間 60 秒
少 年	10月3日(金)	8:50～	高さ 90cm ～ 140cm 以下、幅 170cm 以下、規定時間 60 秒

6 成年男子 六段障害飛越競技

この競技は、直線上に約 11m の間隔で配置された 6 つの垂直障害を連続して飛越するもので、馬の力と技量を試す競技です。

第 1 回目の走行（高さは最終障害が 150cm になるように配置され、第 1 障害から、第 5 障害の高さはコースデザイナーが決定します。）で無過失の競技者が 2 名以上の場合は、ジャンプオフ（決勝競技）として障害の高さを上げて競技を続行します。人の目線より高い連続した障害物を飛越する様子は迫力があり見ごたえがあります。

日本記録は平成26年 JRA ホースショーで林義昌選手とキャリーズサン号が跳んだ199cm、国体記録は平成25年東京国体での林義昌選手とキャリーズサン号(千葉県)の197cmです。

種 別	競技日	時間	実 施 要 項（一部）
成年男子	10月3日(金)	10:30～	第 1 回目の最終障害の高さ 150cm

7 少年 リレー競技

この競技は、1チーム2名が競技場に入り、コースの前半と後半を走行する競技者とに分かれ、指定された障害間で第1競技者と第2競技者が交代します。

第1競技者が前半最後の障害を飛越し着地した時点で第2競技者と交代できます。

走行時間は、第1競技者がスタートラインを通過した時から、第2競技者がゴールラインを通過した時までを計測します。

種別	競技日	時間	実施要項（一部）
少年	10月1日(水)	13:00～	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約650m

8 少年 団体障害飛越競技

この競技は、各ブロックで予選を行って出場枠を勝ち得たチーム（ただし、関東・九州ブロックは2都県）と開催県の12チームで行われる競技です。

競技は、各チーム2名がチームの馬1頭に騎乗し、それぞれ同じコースを走行して2名の合計減点と合計タイムで順位を決定します。

種別	競技日	時間	実施要項（一部）
少年	9月30日(火)	15:10～	高さ110cm以下、幅130cm以下、全長約500m

国体総合馬術競技

国体総合馬術競技は2日間にわたって行われ、第1日目の馬場馬術競技・第2日目の障害飛越競技の成績の合計によって順位が決められます。

成年男子 国体総合馬術競技

① 第1日目 馬場馬術競技

この競技は、馬場馬術競技場で行われ、馬の柔軟性のあるしなやかな動きや選手の指示に従順であることが主眼になります。

各審判員の採点の結果を平均したものを、獲得し得る最高得点から差し引いたものに1.5を掛けたものが成績となります。（減点法）

② 第2日目 障害飛越競技

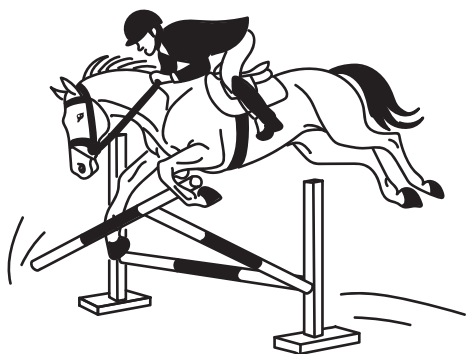
この競技は、障害飛越競技場で行われ、障害物の落下や、拒止、規定時間の超過などは、減点の対象となります。

以上の①・②の成績の合計により順位が決められます。

種別	種目	競技日	時間	実施要項（一部）
成年男子	馬場馬術競技	9月30日(火)	13:10～	FEI 総合馬術競技・馬場馬術課目スリースターB
	障害飛越競技	10月1日(水)	15:05～	高さ120cm以下、幅140cm以下、全長約600m

障害馬術（飛越）競技の採点方法

1 障害物の落下



障害物を落としたり、壊したときは、4点が減点される。障害がくずれるほど壊しても、バーをポロリと落としても同じです。

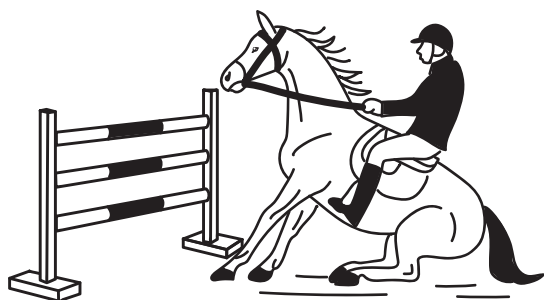
4 不従順(反抗)：巻き乗り等



馬が騎手の言うことを聞かずに、コースで勝手に円を描いたり、前に進まないで後退したりすると4点減点。不従順(反抗)2回目になると失権となる。※

また、不従順等で45秒間以内に次の障害を飛ばないと失権となる。

2 不従順(反抗)：拒止（きよし）



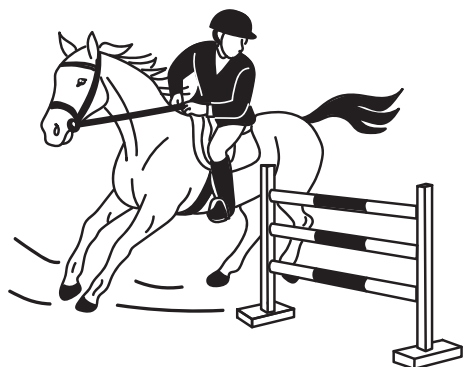
馬が障害物の前で止まると、拒止とみなされ、4点減点され、不従順(反抗)2回目になると失権となる。※

5 落馬・馬の転倒・経路違反



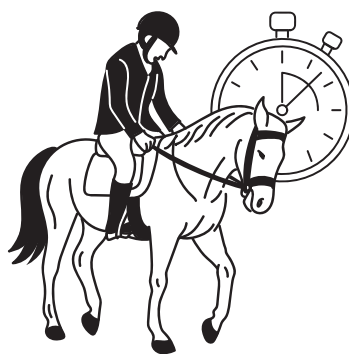
落馬、馬の転倒、経路違反(間違った障害を飛ぶ)は、その場で失権となる。

3 不従順(反抗)：逃避（とうひ）



障害物の手前で馬が飛ぶことをきらって、左右どちらかに逃げたときは、逃避といって4点減点され、不従順(反抗)2回目で失権となる。※

6 規定時間のオーバー



障害競技(減点法)には、規定時間(規定時間はそのコースの全長と定められた速度によって決まってくる)がある。その規定時間をオーバーすると1秒ごとに1点減点される。

※234いずれの不従順(反抗)でも累積2回で失権となる。